

スモータロボット競技発展編その2

前回の続きでロボットの改良、プログラムのテストを行います。

障害物は養生テープ、ビニールテープ大小なので高さがいろいろな位置にあります。

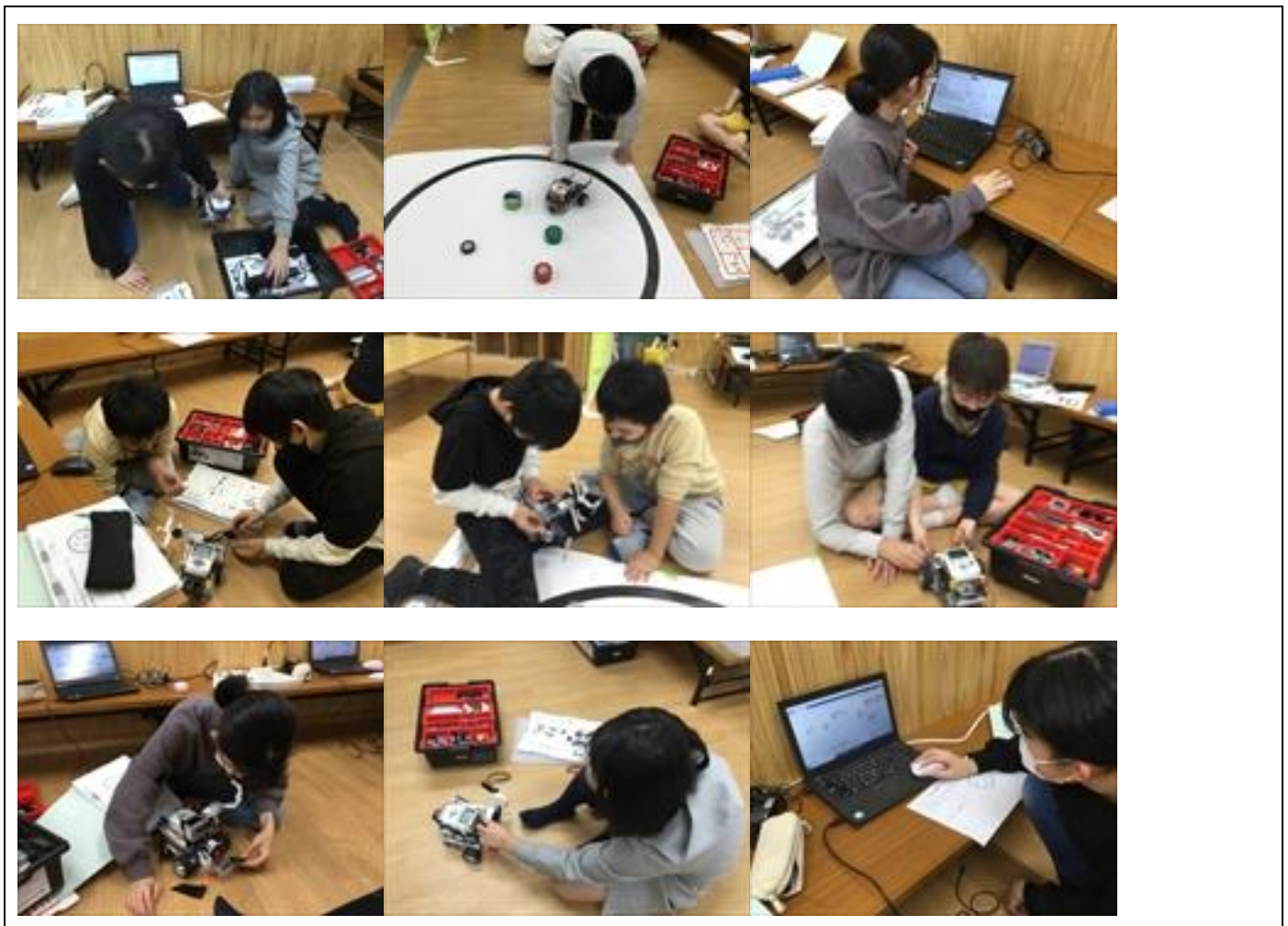
これを押し出すためにはより低い位置で押すようなアームなどが必要です。

また、まっすぐ押し出すという工夫も必要になるでしょう。

実験をしてみるとアームが空振りしてしまったり、押していた障害物が途中で外れてしまったりします。

問題点を把握するためには観察が必要です。よく見て何をどうしたらいいのか考え、改良していきます。

実験を繰り返すうちにだんだんと動きがよくなってきて障害物を全部押し出すことができるロボットも出てきました。





ロボットの改良、プログラムの改良は一度では完結しません。何度も繰り返し実験をする中でよりよいものが出来てきます。

失敗を苦にするのではなく、次のステップとして受け止め、すすめていくことが重要です。

何回か競技をしながら確かめていきました。

次回は競技記録をとり自分たちのロボットがどのくらい進化したか確かめていきましょう。

それでは、次回をお楽しみに！

これまでの教室の様子はブログで公開しています。

<http://lplacetoda.blog.fc2.com/>

をぜひご覧ください。

エルプレイス
代表 玉水 亘
<http://www.lplace.jp/>